Panasonic

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。
他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。
■施工開始前に必ずお読みください。
■施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。
■この商品は、建築基準法などの法令・法規に従って施工してください。
■梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
■取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。(施工完了後、使い方を説明してください。)

施工説明書

連続手すり NEWストロングバー

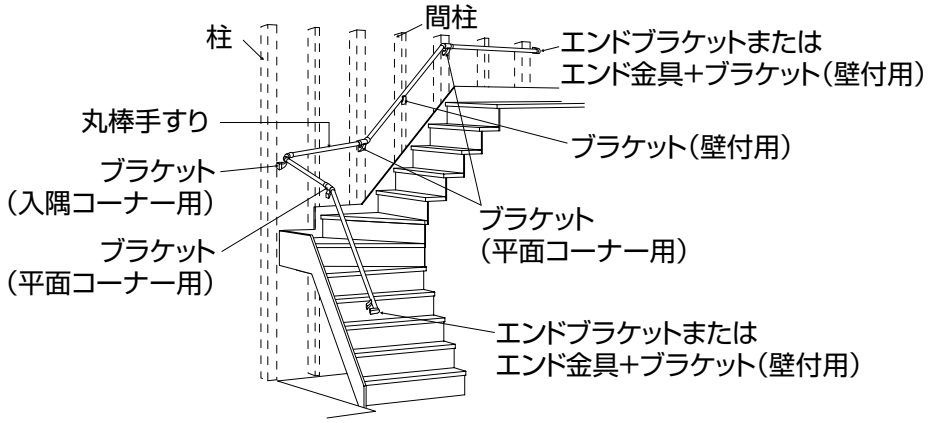
もくじ

施工概要
- 階段姿図例(90°3段まわり12段) 表紙
- 手すりの設置位置について 表紙
- 施工前の確認 表紙
- 安全上のご注意 P.2
- 施工手順
  - 墨出し P.3
  - ブラケットの位置合わせ方法 P.3
  - 施工前のご注意 P.3
  - ブラケット(壁付け用)の固定および丸棒手すりの固定 P.4-5
  - ブラケット(平面コーナー用)の固定および丸棒手すりの固定 P.6-7
  - ブラケット(入隅コーナー用)の固定および丸棒手すりの固定 P.8
  - 出隅部の固定 P.9
  - ブラケット(笠木取り付け用)の固定および丸棒手すりの固定 P.10
  - スタート金具の取り付け P.11
  - エンド金具の固定 P.11
  - エンドブラケットの固定 裏表紙
- 施工後の確認 裏表紙

施工概要

階段姿図例(90° 3段まわり12 段)

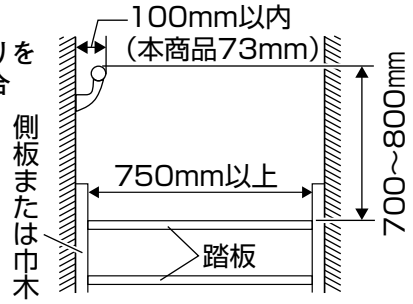
※階段形態により手すりの取り付けパターンが異なりますが、施工方法は共通となりますので、右記パターンを参考に施工してください。



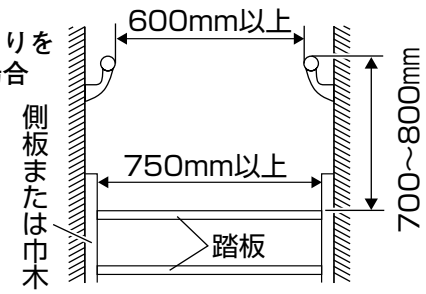
手すりの設置位置について

●図のように手すりの取り付け高さは段鼻、床の位置から700～800mm が一般的です。
(使用される方の使いやすい位置に設置してください。)
●階段有効幅は建築基準法に基づき、750mm 以上確保してください。
なお、図のように片側へ取り付ける場合、手すりの出幅が100mm (本商品の手すり出幅は73mmです)以内であれば階段有効幅の750mmに算入することができます。手すりを両側へ取り付ける場合は、手すりの突端間が600mm以上あることが必要です。(この場合でも階段自体の有効幅は750mm 以上必要です。)
■ 手すりの取り付け位置寸法を厳守してください。

片側に手すりを設置する場合



両側に手すりを設置する場合



施工前の確認

●開梱したら、部材に損傷がないかご確認ください。
躯体へ取り付け後の損傷クレームについては責任を負えませんので施工前にご確認ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告

必ず守る

●本部材は、住宅の屋内においてのみ使用する ただし浴室などの湿気の多い場所での使用はさける

●仮固定作業中は施工場所周囲に安全防護柵を施すなど、手すりが使用できないことがわかるようにする

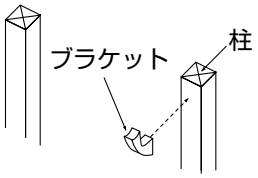
●部材の仮置き保管は、湿気や直射日光の当たる場所を避け、床面が水平な場所に保管する
くされや材割れなどにより手すり部材が外れたり、折れたりして、転落事故の原因になります。

●取り付けは必ず取り付け工事店が施工する
部材の反り、ネジレが発生し、取り付け不安定による手すりの外れ、転落·転倒事故の原因となります。

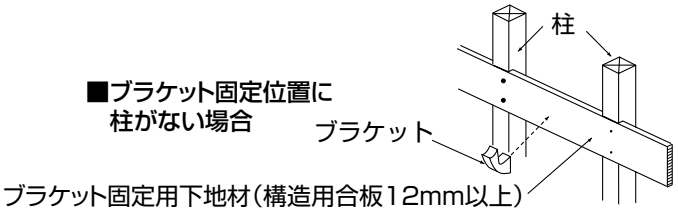
●潤滑油などの薬品を用いて拭かない　金具の破損の原因になるおそれがあります。

●ブラケットの固定位置には必ず柱（木材）があることを確認する。または下地材（構造用合板12mm以上）を柱の所定の位置に取り付ける（下図参照）
ブラケットの外れ、転落·転倒事故の原因になります。

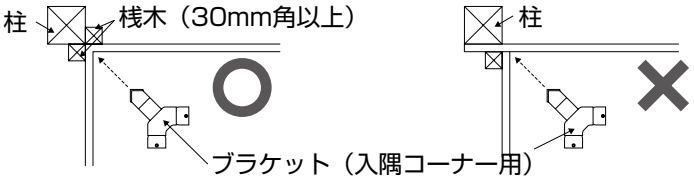
■ブラケット固定位置に柱がある場合



■ブラケット固定位置に柱がない場合



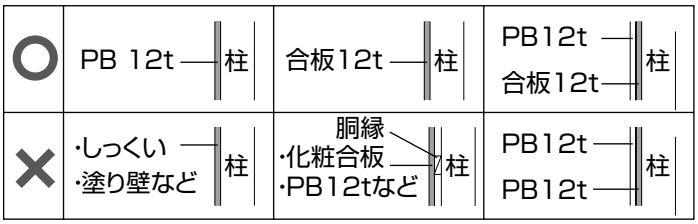
●ブラケット（入隅コーナー用）の固定位置には、図のように必ず柱と桟木（2か所）があることを確認する
ブラケットの外れ、転落、転倒事故の原因になります。



禁止

●柱や下地の強度が不十分な場合は施工しない
※ねじをねじ込み、柔らかい木材や腐れ、虫食いなど、下地の状況を確認してください。

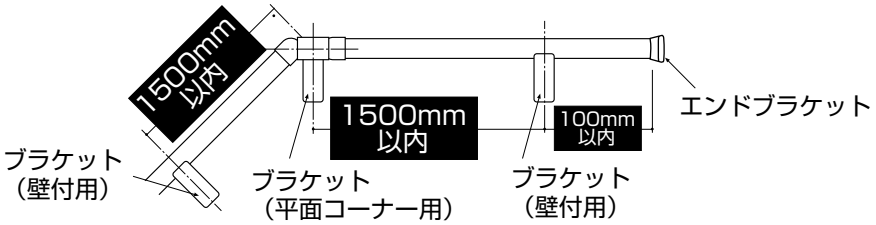
●プラスターボードの二重貼りや胴縁施工GL工法、軽鉄など、柱や下地材から壁仕上げ表面まで12mmを超える場合は施工しない
ブラケットの外れ、転落、転倒事故の原因になります。

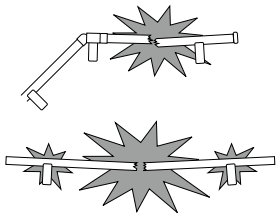


必ず守る

●ブラケットの取り付け間隔は1500mm 以内にする

●[エンドブラケット、フレキシブルジョイント、金具部品]とブラケットの取り付け間隔は100mm以内にする
手すり本体やブラケットが折れ、転落·転倒事故の原因になります。





●各部材を取り付ける際、トルクの調整できる電動ドライバーを使い、ねじの空転やねじがねじ切れることのないようトルクを調整する

●インパクトタイプの電動ドライバーを使用しない
ねじの破損や、取り付け不安定による手すりの外れ、転落·転倒事故の原因になります。

●部材の固定は材割れ防止のため必ず下穴をあけ、同梱しているねじを使用し確実に締め込む
ねじの突出によるけがや、保持力不足による手すりの外れ、転落·転倒事故の原因になります。

●本丸棒手すりには、「梱包内容の確認と施工上の注意」に記載されている金具を使用する
ねじやブラケットが折れ、転落·転倒事故の原因になります。

●施工中に手すりに傷をつけて化粧シートが破れたり、めくれたりした場合は使用を中止し、すみやかに補修依頼を行う
そのまま使用すると手を切ったり、けがをする原因になります。

施工上のご注意

●塗装済み部材をシンナーなどで拭かないでください。色むら·ツヤむらの原因になります。

●次亜塩素系洗剤（漂白剤、カビ用洗剤など）で拭かないでください。金属部のサビの原因になります。

施工手順

1 墨出し ▶ **2** ブラケットの固定 ▶ **3** 丸棒手すりの固定 ▶ **4** ブラケットと着脱ナットの分離

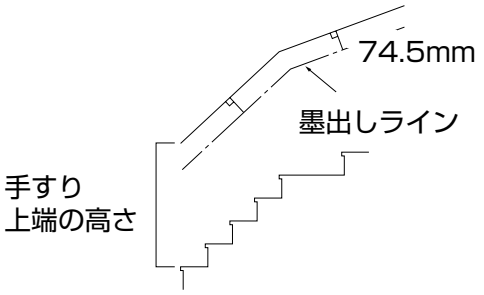
5 【クロス貼り工程】 ▶ **6** ブラケットの固定（完全固定） ▶ **7** カバーの取り付け

※クロス貼り後の施工の場合、**4** **5** は不要です。

1. 墨出し

〈直線部～勾配部〉

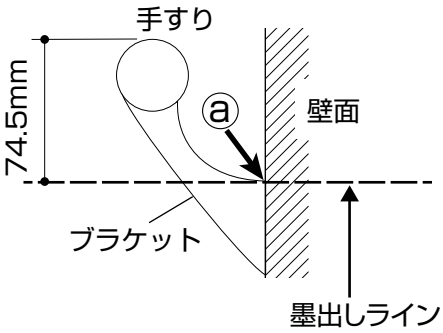
段鼻からの手すりの高さを基準に、ブラケットの
壁取り付け部上端に合わせたラインを墨出しします。



2. ブラケットの位置合わせ方法

〈壁付用、平面コーナー用、入隅コーナー用〉

図のようにブラケットの壁取り付け部上端ⓐを
ブラケット取付位置（墨出しライン）と水平に合わせてください。

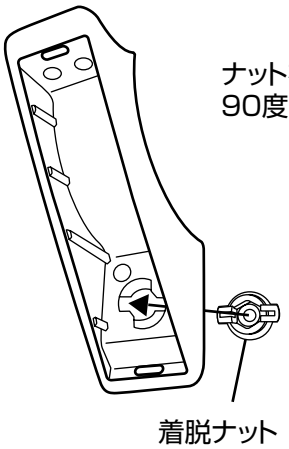


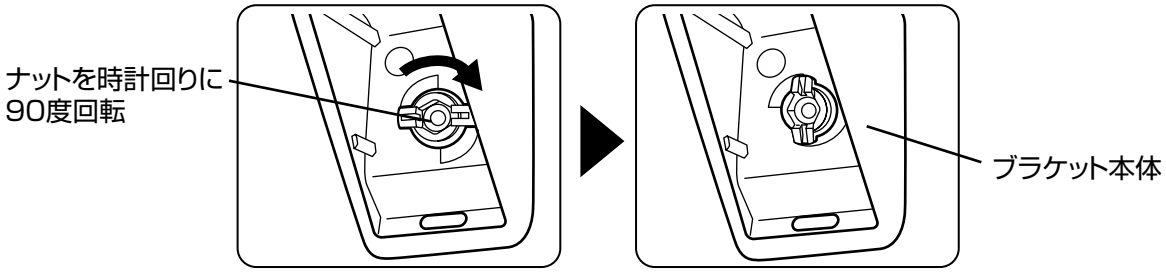
⚠ 警告

必ず守る

- **ブラケットの取り付け間隔は1500mm以内にする**
- **エンドブラケットやフレキシブルジョイントなど金具部材がくる場合、金具から100mm以内にブラケットを取り付ける**
- **材割れ防止のため必ず下穴（約φ2.5）をあけてからねじを取り付ける**

3. 施工前のご注意



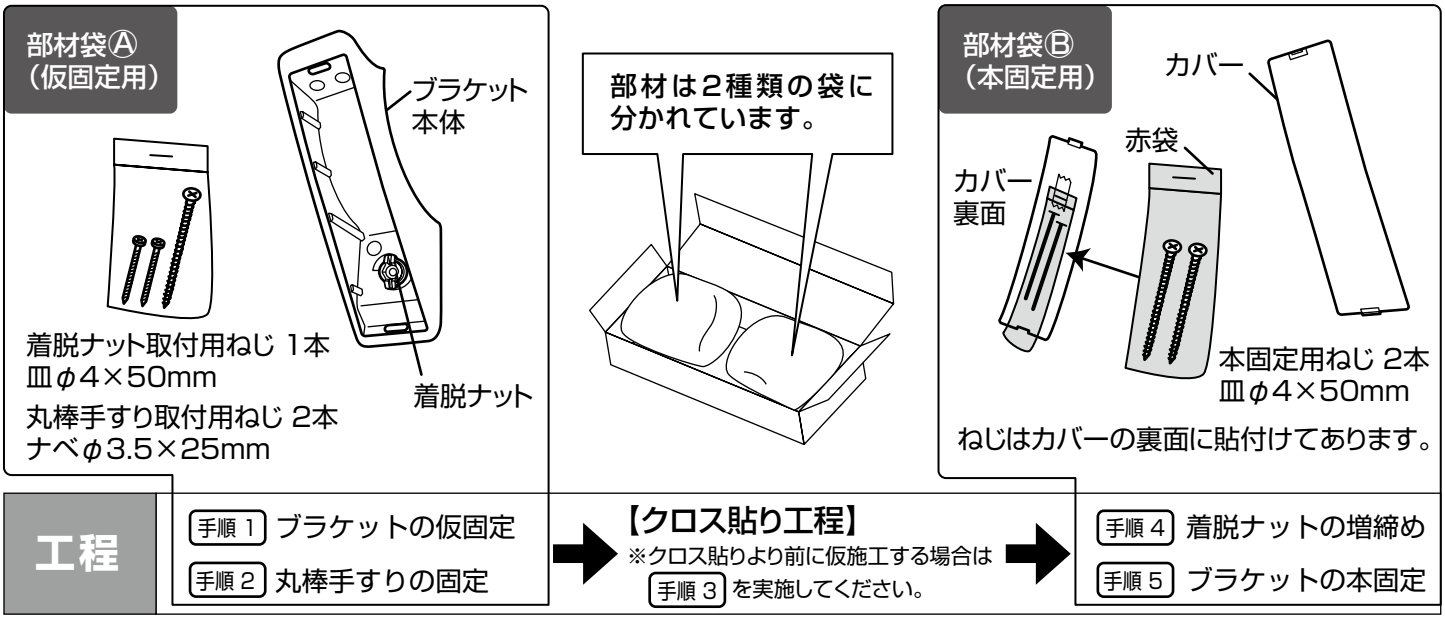


ブラケットを仮固定する前に

1.ブラケット本体と付属の着脱ナットをあらかじめ装着してください。
2.着脱ナットは時計回りに90度回転させてしっかりと装着してください。

ブラケット（壁付け用）の固定および丸棒手すりの固定

■ 梱包内容の確認と施工上の注意



工程

手順 1 ブラケットの仮固定
手順 2 丸棒手すりの固定

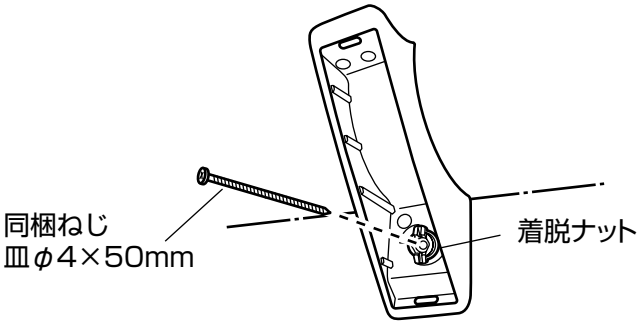
→ 【クロス貼り工程】
※クロス貼りより前に仮施工する場合は
手順 3 を実施してください。 →

手順 4 着脱ナットの増締め
手順 5 ブラケットの本固定

手順 1 ブラケットの仮固定

ブラケットに装着した着脱ナットを柱や
下地材に仮止め固定する。

※ねじを壁に深く打ち込みすぎないでください。
着脱ナットが回らなくなるおそれがあります。



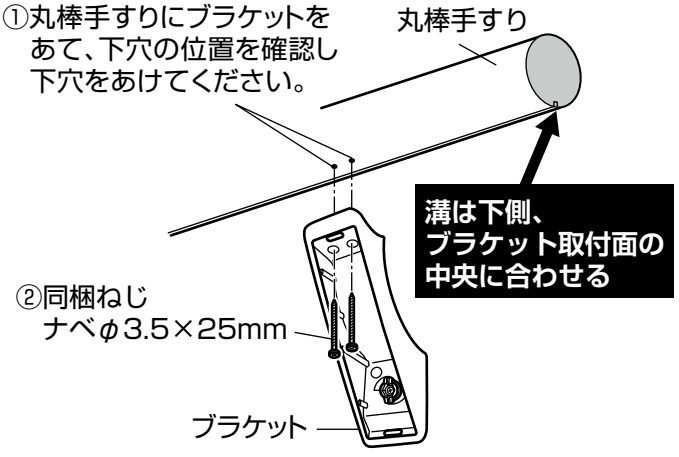
手順 2 ブラケットと丸棒手すりの固定

①下穴（約φ2.5mm）をあけて受け座と手すりを密着させる。
②同梱ねじ（φ3.5×25mm）で固定する。

⚠ 警告

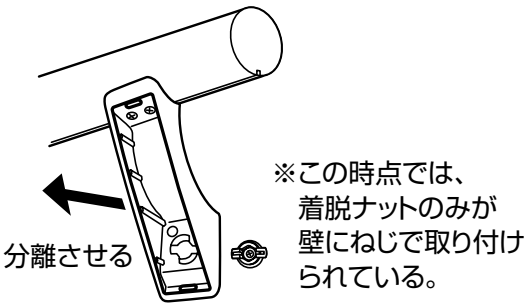
必ず守る

手すりとブラケットは仮止め状態のため故意に手すりを揺すったり、力を加えたりしない
手すり、ブラケットが落下し、けがをするおそれがあります。



手順 3 手すりとナットの分離（着脱する場合）

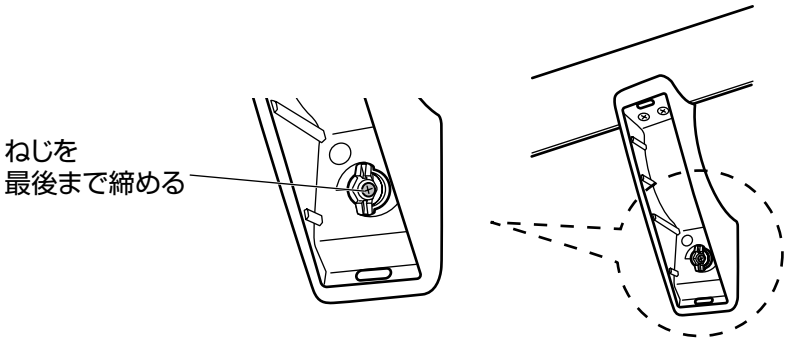
着脱ナットを反時計回りに回し、
手すりと着脱ナットを分離させる。



【クロス貼り工程】※クロス貼りより前に仮施工する場合

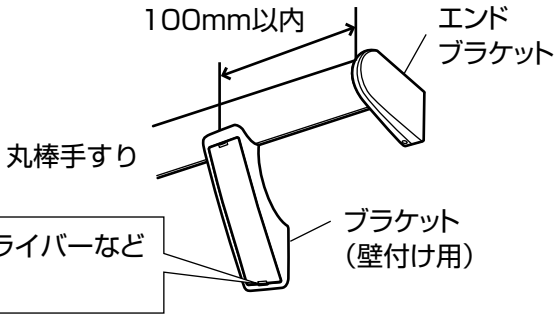
手順 4 着脱ナットの固定

再びブラケットをナットに装着し
着脱ナットのねじを最後まで締める。



壁に固定する前に

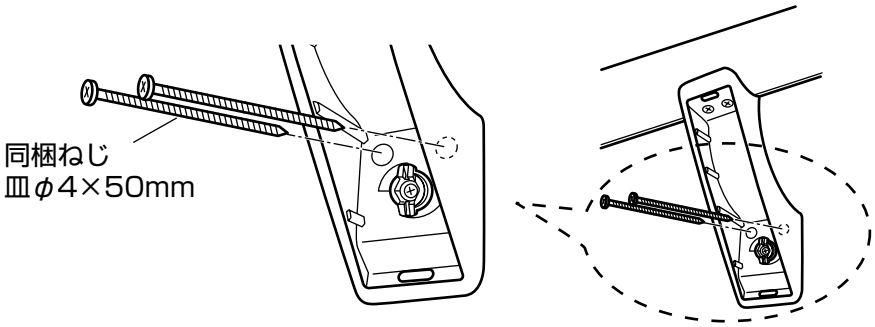
エンドブラケットが取り付けしにくい場合はブラケット(壁付け用)
を固定するまえにエンドブラケットを施工してください。
エンドブラケットの施工手順は11ページを参照してください。



カバーの取り外しはカバー下部の凹部にドライバーなど
を引掛けて外すことができます。

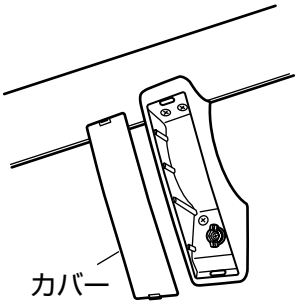
手順 5 ブラケットの固定

同梱ねじ(赤袋、カバー梱包分)で
ブラケットの残り2か所を固定する。



手順 6 カバーの取り付け

カバーをブラケットのツメに合わせてはめ込む。

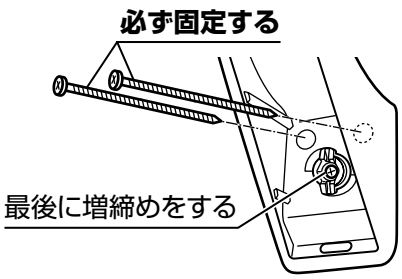


⚠警告

必ず守る

- **ブラケット固定の最終工程で、着脱ナットの増し締めを必ず行う** 手順 4
- **同梱ねじ(赤袋、カバー梱包分)で残り2か所の固定を必ず行う** 手順 5

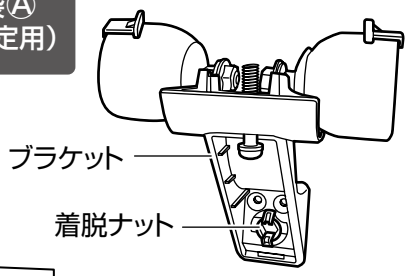
手すりの外れ、転落、転倒事故の原因になります。

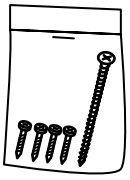


ブラケット（平面コーナー用）の固定および丸棒手すりの固定

■ 梱包内容の確認と施工上の注意：ブラケット（平面コーナー用）

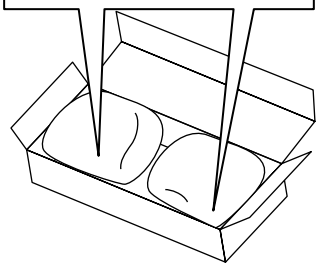
部材袋Ⓐ（仮固定用）



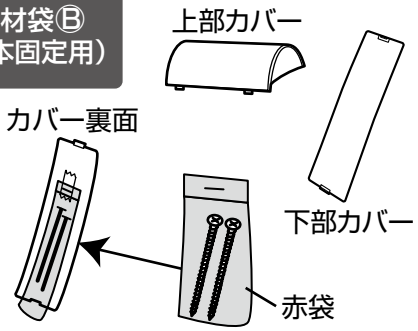


着脱ナット取付用ねじ 1本
皿φ4×50mm
丸棒手すり取付用ねじ 4本
なべφ3×16mm

部材は2種類の袋に分かれています。



部材袋Ⓑ（本固定用）



ねじはカバーの裏面に
貼付けてあります。

本固定用ねじ 2本　皿φ4×50mm

工程

手順 1 ブラケットの仮固定
手順 2 カップの調整
手順 3 丸棒手すりの固定

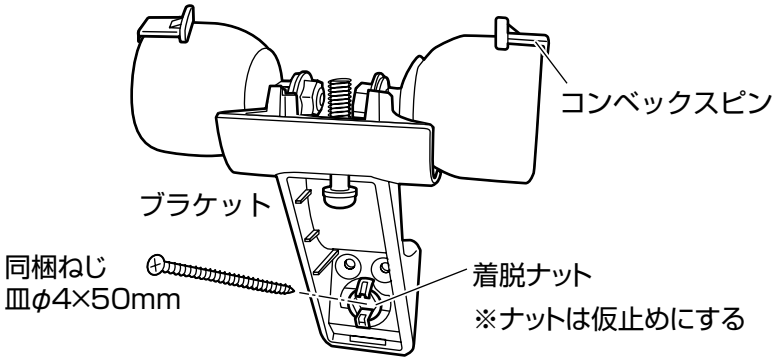
→ 手順 4 手すりと金具と着脱ナットの分離 →

手順 5 着脱ナットの増締め
ブラケットの本固定

手順 1 ブラケットの仮固定

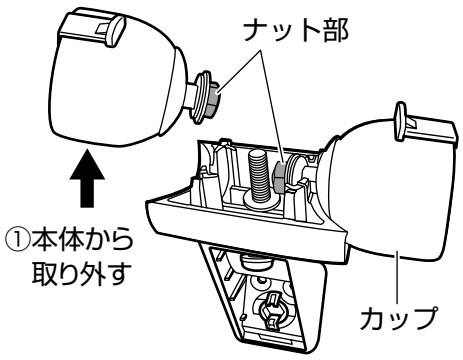
ブラケットに装着した着脱ナットを
柱や下地材に仮止め固定する。

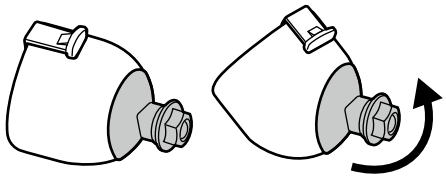
※丸棒てすりを仮置きし
ブラケットの位置を確認してください。



手順 2 カップの調整

① カップのナット部をゆるめ、
本体から取り外す。
② 丸棒手すりの取り付け角度に
合わせカップの向きを調整する。
③ 調整後、カップを本体に戻し
ナット部を締め固定する。
※左右同じ要領で固定して
ください。



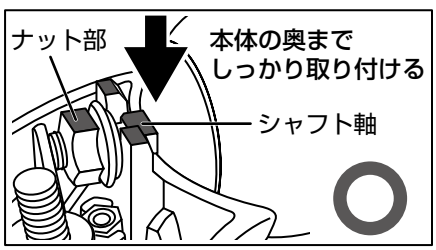


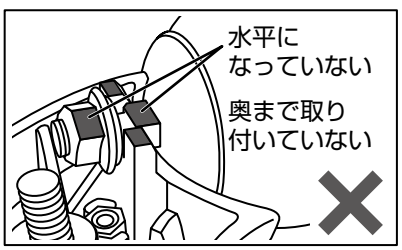
②向きを調整する

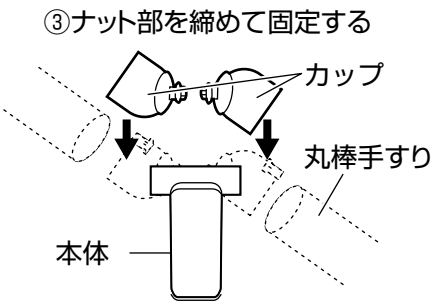
⚠ 警告

必ず守る

●カップのシャフト軸・ナット部は必ず本体に水平になるように取り付ける
カバーがきちんと締まらず、手すりが落ちけがをするおそれがあります。
■の部分を水平にあわせてください。

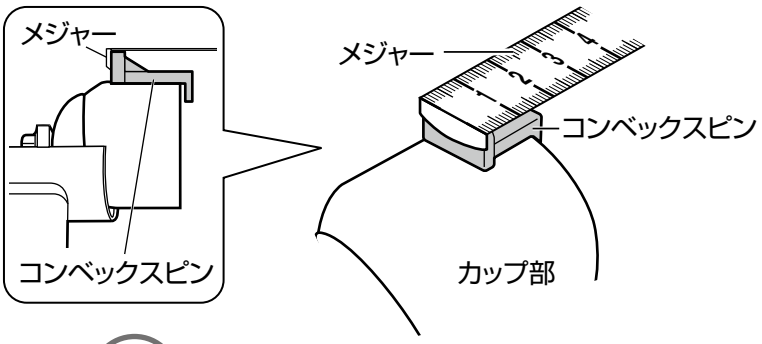


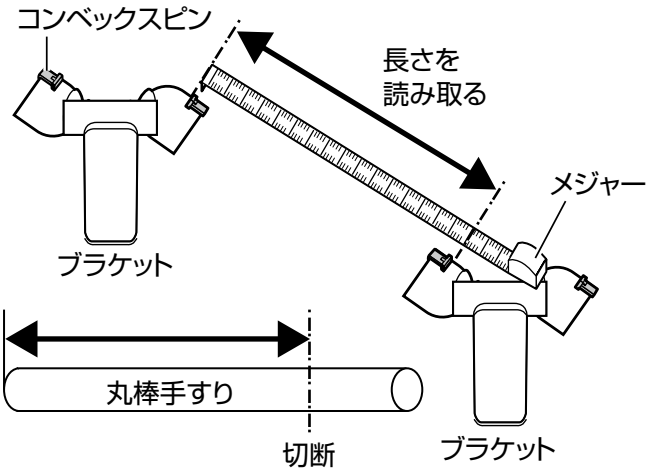


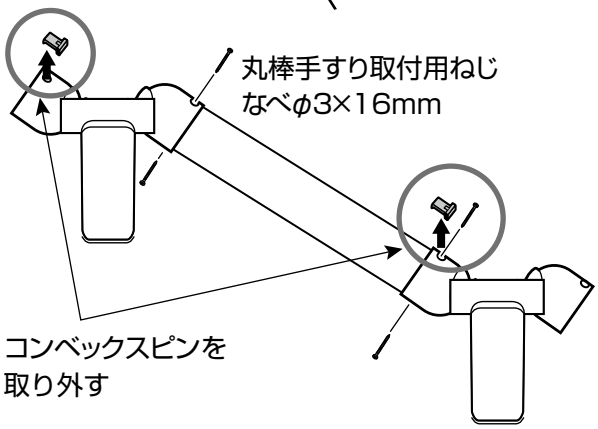


手順 3 丸棒手すりの固定

① コンベックスピンにメジャーを引っ掛け
読み取った長さに丸棒手すりを切断する。
② コンベックスピンを取り外す。
③ 同梱のねじで丸棒手すりをカップ部に取り付ける。

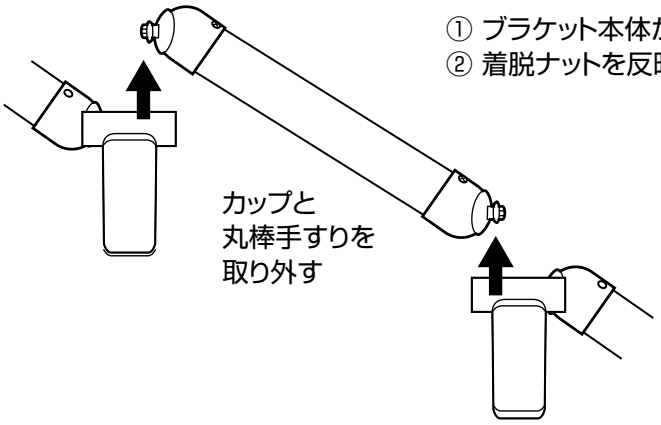


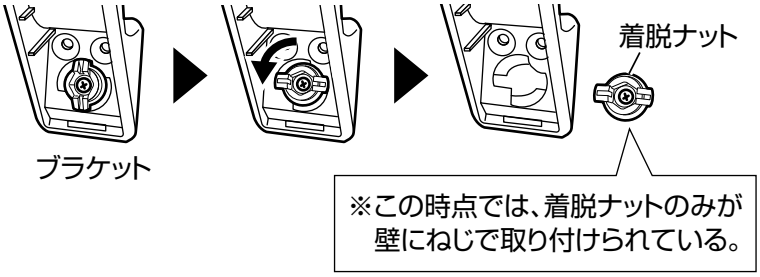




手順 4 手すりと金具と着脱ナットの分離（着脱する場合）

① ブラケット本体からカップと丸棒手すりを取り外す。
② 着脱ナットを反時計回りに回し、ブラケットと着脱ナットを分離させる。



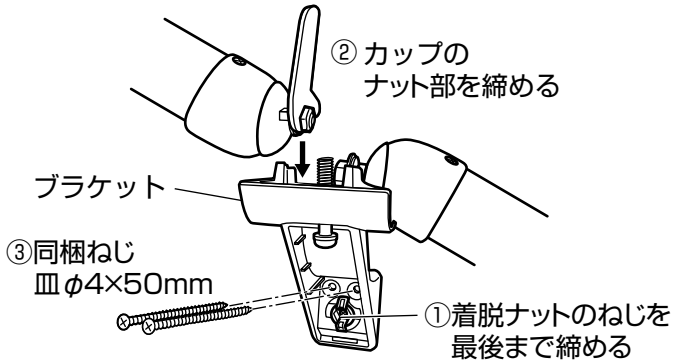


※この時点では、着脱ナットのみが
壁にねじで取り付けられている。

【クロス貼り工程】※クロス貼りより前に仮施工する場合

手順 5 ブラケットの固定

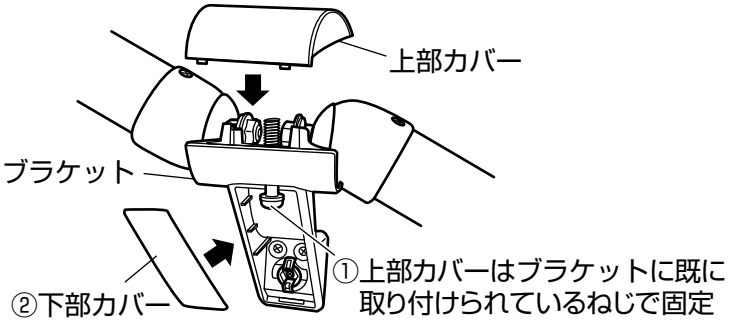
① クロス貼りの後、再びブラケットを着脱ナットに装着し
着脱ナットのねじを最後まで締める。
② カップと丸棒手すりを本体に取り付け、カップのナット
部を締める。
③ 同梱ねじ（赤袋、カバー梱包分）でブラケットの2か所を
固定する。



手順 6 カバーの取り付け

①上部カバーをねじで固定する。
②カバーをブラケットのツメに合わせてはめ込む。

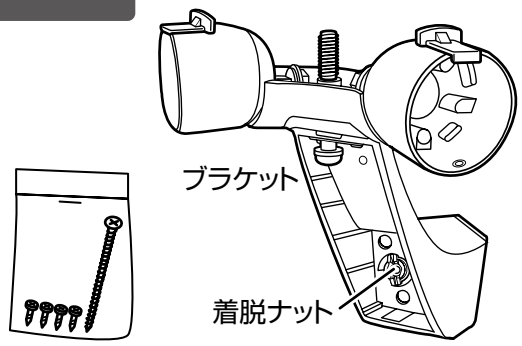
**※上部カバーとブラケットの間にすき間がないか
カップのガタツキはないか確認してください。**



ブラケット（入隅コーナー用）の固定および丸棒手すりの固定

■ 梱包内容の確認と施工上の注意：ブラケット（入隅コーナー用）

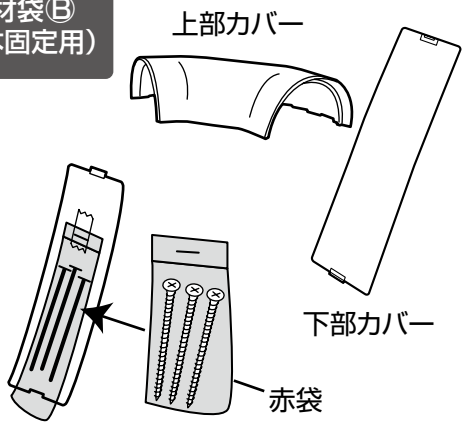
部材袋Ⓐ（仮固定用）



着脱ナット取付用ねじ 1本
皿φ4.2×100mm

丸棒手すり取付用ねじ 4本
なべφ3×16mm

部材袋Ⓑ（本固定用）



カバー裏面

本固定用ねじ 3本
コーススレッドφ4.2×100mm

ねじはカバーの裏面に貼付けてあります。

工程

手順 1 ブラケットの仮固定
手順 2 カップの調整
手順 3 丸棒手すりの固定

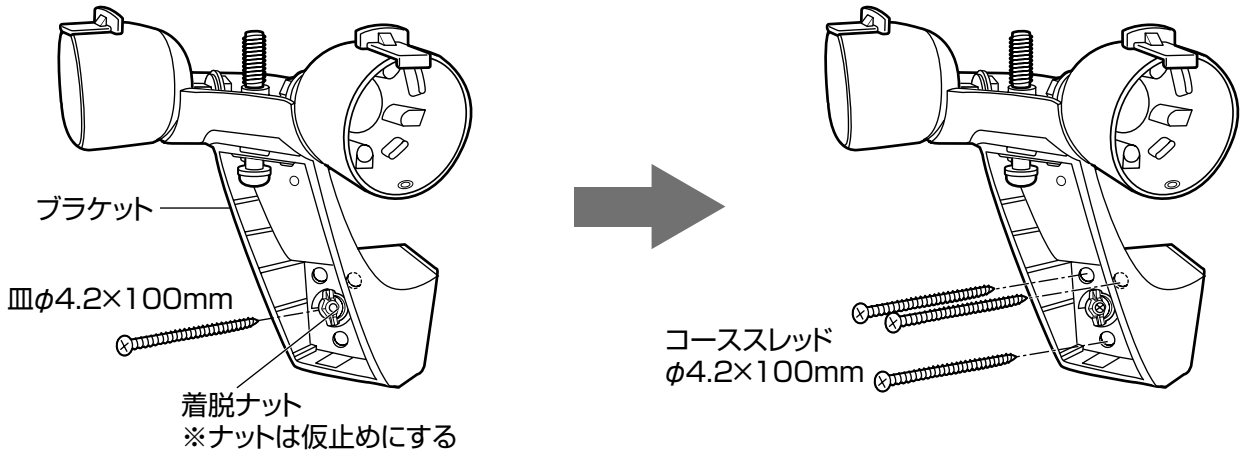
→ 手順 4 手すりと金具と着脱ナットの分離 →

手順 5 着脱ナットの増締め
ブラケットの本固定

手順 1 ブラケットの仮固定

①ブラケットに装着した着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。
②ブラケットを柱や下地材に同梱のねじで固定する。（着脱ナットを90°回し、仮固定する）

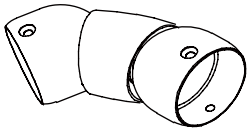
※丸棒手すりを仮置きしブラケットの位置を確認してください。



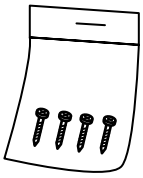
手順 2 以降は **ブラケット（平面コーナー用）の固定および丸棒手すりの固定** 手順 2 ～ 手順 6 と同様の施工を行ってください。

出隅部の固定

■ 梱包内容の確認と施工上の注意



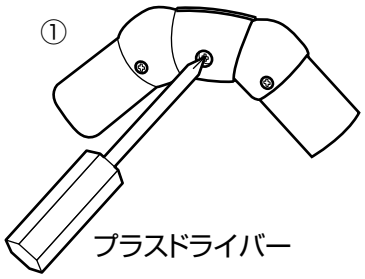
フレキシブルジョイント

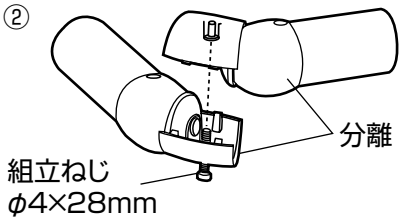


丸棒手すり取付用ねじ 4本
なべφ3×16mm

■ クロス貼りなどで手すりを外す場合

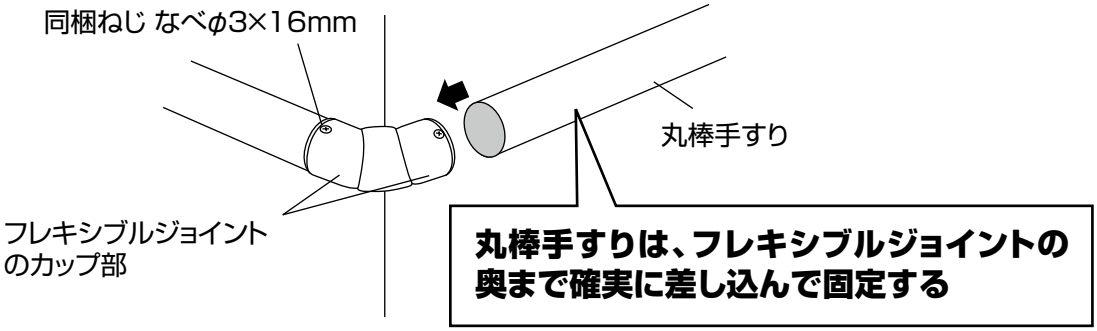
①プラスドライバーを使用し、中心部に取り付けられているねじを外す。
②パーツを分離する。





手順 1 コーナー用部材と手すりの固定

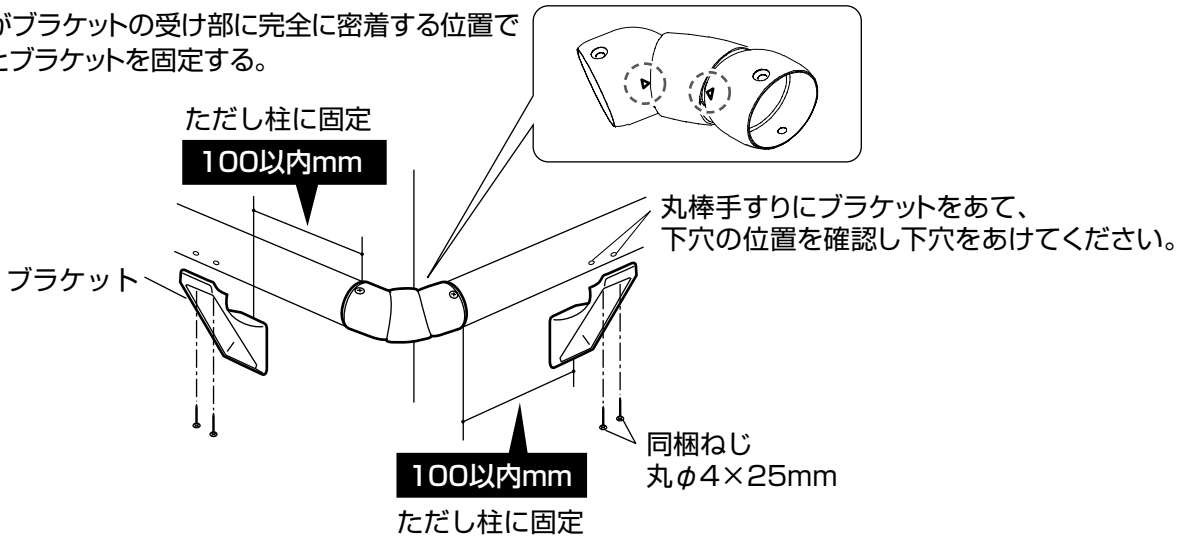
図のように、フレキシブルジョイントの両側（カップ部）に丸棒手すりを奥までしっかり差込み、同梱のねじで固定する。



手順 2 ブラケットと手すりの固定

・フレキシブルジョイントの可動方向（カップの△の方向に動きます）をさぐりながらブラケットにのせる。

・丸棒手すりがブラケットの受け部に完全に密着する位置で丸棒手すりとブラケットを固定する。

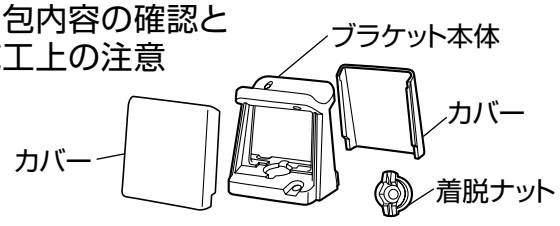


手順 3 カバーの取り付け

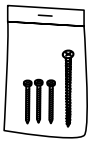
手すり全体の取り付けが終わった後、施工後の確認をしてからカバーを取り付ける。

ブラケット（笠木取付け用）の固定および丸棒手すりの固定

■ 梱包内容の確認と施工上の注意

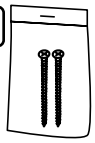


手順1 手順2 で使用



着脱ナット取付用ねじ 1本
皿φ4×50mm
丸棒手すり取付用ねじ 3本
なべφ3.5×25mm

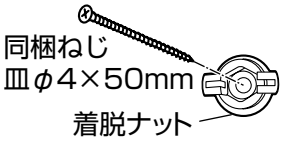
手順4 で使用



本固定用ねじ 2本
皿φ4×50mm

手順 1 着脱ナットの固定

ブラケットの位置を確認し、柱や下地材に着脱ナットを固定する。

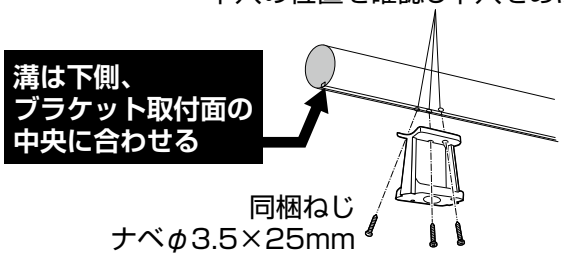


【クロス貼り工程】 ※クロス貼りより前に仮施工する場合

手順 2 ブラケットと丸棒手すりの固定

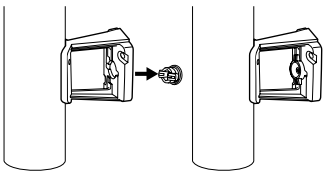
ブラケットを丸棒手すりに密着させ、丸棒手すりに下穴（約φ2.5mm）をあけて同梱のねじで固定する。

丸棒手すりにブラケットをあて、
下穴の位置を確認し下穴をあけてください。



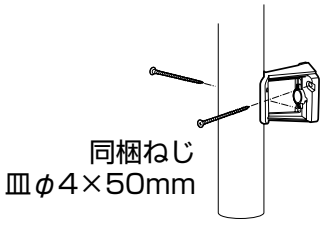
手順 3 ブラケットの装着

丸棒手すりを装着したブラケットを着脱ナットに装着する。
着脱ナットを90° 回転させ固定する。
（3ページ **3.施工前のご注意** 参照）



手順 4 ブラケットの固定

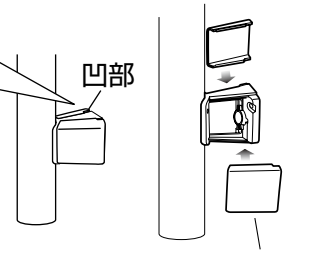
同梱ねじでブラケットの残り2か所を固定する。



手順 5 カバーの取り付け

カバーをブラケットのツメに合わせてはめ込む。

カバーの取り外しはカバー下部の凹部にマイナスドライバーなどを引掛けて外すことができます。



⚠ 警告

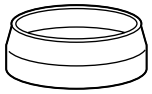
必ず守る

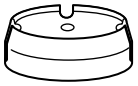
- **ブラケットの取付間隔は1500mm以内に取り付ける**
- **材割れ防止のため必ず下穴（約φ2.5）をあけてからねじを取り付ける**
- **材割れ防止のために、必ず目地を下にして取り付ける**
- **各部材を取り付ける際、インパクトタイプの電動ドライバーを使用しない**
- **トルクの調整できる電動ドライバーを使い、トルクを調整して、ねじの空転やねじが切れることのないようにする**

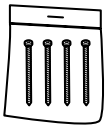
取り付け不安定による手すりの外れ、転落・転倒事故の原因になります。

スタート金具の固定（※着脱できません）下記手順は床～天井に手すりを固定する場合

■ スタート金具（カバー、台座、取付用ねじ）梱包内容の確認と施工上の注意


カバー


台座

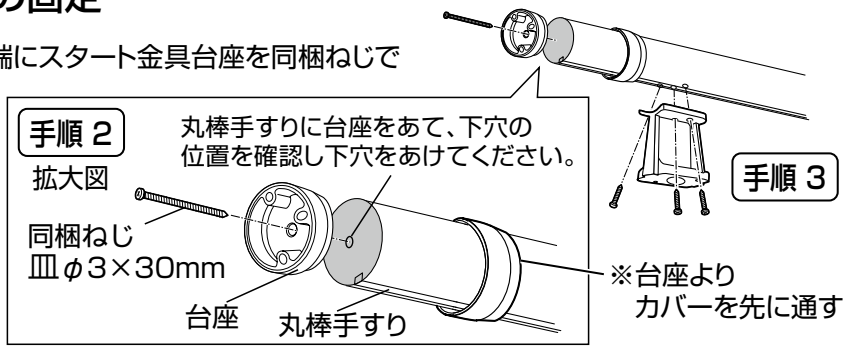

取付用ねじ 4本 皿φ3×30mm

手順 1 丸棒手すりの加工

床～天井の高さ寸法を測る。 **<床～天井面の高さ寸法>－27.6mm**の長さに丸棒手すりを切断する。

手順 2 丸棒手すりとスタート金具の固定

丸棒手すりに下穴（約φ2mm）をあけ、手すりの両端にスタート金具台座を同梱ねじで取り付ける。（カバーを先に丸棒に通してください）

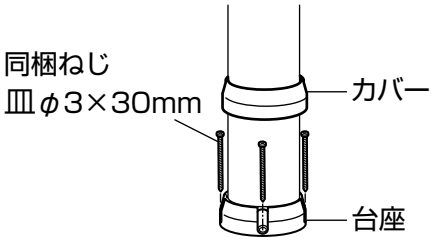


手順 3 ブラケットの装着

ブラケット（笠木取り付け用）を取り付ける。
※ブラケット（笠木取り付け用）の固定および丸棒手すりの固定をご参照ください。

手順 4 天井、床への取り付け

天井と床の取り付け位置に手すりを合わせ、天井と床にスタート金具を同梱ねじで取り付ける。



手順 5 カバーの取り付け

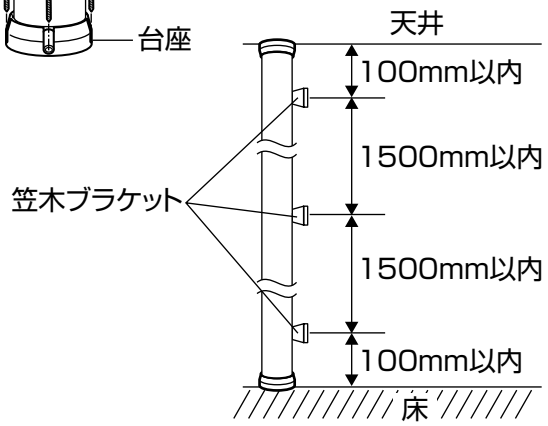
台座にカバーをかぶせる。

玄関プランの場合

⚠警告

必ず守る

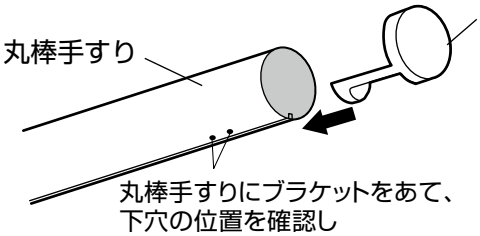
- **天井、床に取り付けたスタート金具から100mm以内に笠木ブラケットを取り付ける**
- **笠木ブラケット同士の間隔は1500mm以内に納める**



エンド金具の固定

手順 1 ブラケットの仮固定

ブラケットに同梱の着脱ナットを柱や下地材に仮止め固定する。（4ページ参照）



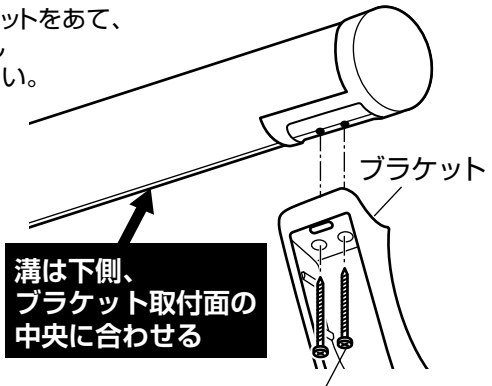
手順 2 エンド金具の取り付け

丸棒手すりに下穴（約φ2.5mm）を2カ所あけ、丸棒手すりにエンド金具を取り付ける。

手順 3 エンド金具の固定

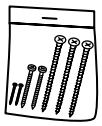
ブラケットと丸棒手すりでエンド金具をはさみブラケット同梱のねじで固定する。

ブラケットの本固定については4ページの
ブラケット（壁付け用）の固定および丸棒手すりの固定
を参照してください。



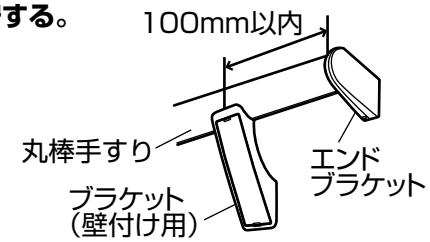
エンドブラケットの固定（※着脱できません）

■ 梱包内容の確認と施工上の注意



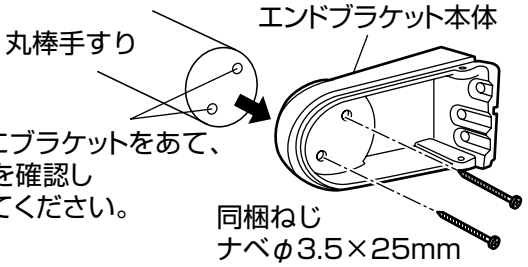
固定用ねじ 3本 皿φ4×50mm
丸棒手すり取付用ねじ 2本 ナベφ3.5×25mm
カバー取付用ねじ 2本 タップタイト皿φ3×8mm

■エンドブラケットを取り付ける場合、図のように取り付け間隔を必ず厳守する。



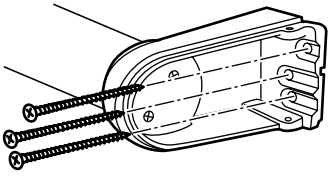
手順 1 手すりとブラケットの固定

丸棒手すりに下穴（約φ2.5mm）をあけ
同梱のねじで固定する。



手順 2 ブラケットの固定

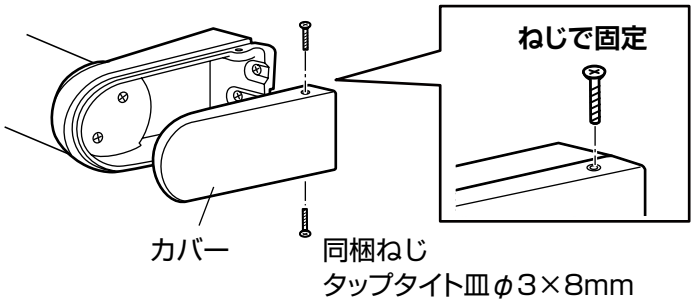
同梱のねじで下地材などに固定する。



同梱ねじ 皿φ4×50mm

手順 3 カバーの取り付け

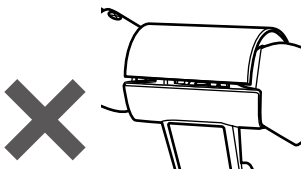
カバーをスライドさせて本体に
取り付け、同梱のねじで固定する。



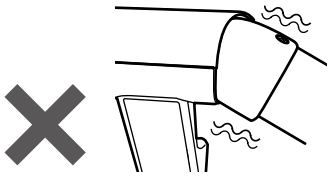
施工後の確認

■施工が完了したら、手すりにがたつきがないか、金具部のねじが確実に締結されているか、確認してください。緩みがあれば確実に締め直してください。

☐ カバーと本体間にすき間はないか?



☐ カップのがたつきはないか?



☐ 手すりのがたつき、ぐらつきはないか?

すき間やがたつきがある場合は、上下部カバーを取り外し下記を確認してください。

☐ カップはブラケットにきちんと取り付けられていますか?（6ページ参照）

☐ カップのナット部はしっかりと締め付けられていますか?（6ページ参照）

☐ 手すりとブラケットはしっかりとねじで固定されていますか?

■再度以下の項目について確認ください。

⚠警告

必ず守る

ブラケットの取付間隔は1500mm以内に取り付ける
エンドブラケットやフレキシブルジョイントなど金具部材がくる場合、金具から100mm以内にブラケットを取り付ける

手すりの破損、金具の外れが生じ、転落・転倒事故の危険があります。

パナソニック株式会社　内装システムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2012
SENS019
DC1209-3012